

東京ムジーククライス

第18回定期演奏会



Heinrich Schütz (1585 - 1672)

ハインリヒ・シュッツ

Der Schwanengesang SWV482-494

白鳥の歌

指揮

渡辺祐介

ソプラノ

小林 恵

アルト

布施奈緒子

テノール

梅田純吾

バス

加藤宏隆

合唱

東京ムジーククライス

2026.

9.21 (月・祝)

13:30 開場 14:00 開演

武蔵野市民文化会館 小ホール

〒180-0006 東京都武蔵野市中町3丁目9番11号

JR 中央線三鷹駅 北口バス乗り場より

「市民文化会館入口」停留所下車 徒歩2分

入場料 (全席自由)

一般 3,000 円

◆お問い合わせ

tokyo.musikkreis.info@gmail.com

<https://musikkreis.net>

チケットのご予約はこちらの
QRコードから承ります。





渡辺祐介 [指揮]

WATANABE Yusuke

東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。多田羅迪夫氏に師事。その後オランダのデン・ハーグ王立音楽院にて、ペーター・ゴイ、マイケル・チャンス、ジル・フェルドマン、リタ・ダムスの諸氏のもとで研鑽を積む。2002 年よりバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバー。2019 年古楽器オーケストラ「オルケストル・アヴァンギャルド」を創設して音楽監督に就任。現在マヨラ・カナムス東京音楽監督、東京ムジーククライス常任指揮者。2024 年より中央大学文学部兼任講師。



小林 恵 [ソプラノ]

青山学院大学文学部史学科卒業。東京藝術大学大学院古楽科バロック声楽専攻修士課程修了。主に宗教作品でソリストを務めるほか、エクス・ノーヴォ、プロムジカ使節団、サリクス・カンマーコア等の演奏会・録音に参加。2025 年 第 36 回国際古楽コンクール(山梨) 第 2 位(最高位)。東京スコラ・カントールム、オルフ祝祭合唱団等ヴォイスリーダー。青山学院大学聖歌隊副指揮者。



布施奈緒子 [アルト]

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞および同声会賞受賞。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。2008 年よりバッハ・コレギウム・ジャパン(音楽監督:鈴木雅明)のメンバーとして国内外の演奏および録音に参加。バッハ《ミサ曲 口短調》《マタイ受難曲》、メンデルスゾーン《パウルス》でソリストを務めた。パーセルプロジェクトメンバー。



梅田純吾 [テノール]

高知大学教育学部、東京藝術大学音楽学部卒業。グレゴリオ聖歌から演歌までジャンルにとらわれず幅広く活動している。これまでに J.S. バッハの教会カンタータ、《ヨハネ受難曲》《口短調ミサ》ヘンデル《メサイア》モーツァルト《レクイエム》、フレスチバロックなど宗教音楽のソリストを務める。新国立劇場合唱団所属。



加藤宏隆 [バス]

静岡県出身。東京藝術大学卒業後渡米。ジョンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院にて修士課程を、インディアナ大学ジェイコブズ音楽院にてディプロマ課程をそれぞれ修了。オペラでは、東京二期会「魔弾の射手」カスパール、日生劇場「後宮からの逃走」オスミン等で出演多数。2021 年 4 月、東京・春・音楽祭「リッカルド・ムーティ、イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」に「マクベス」パンゴで参加。また、バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバーとして、演奏会や録音に参加するなど、宗教音楽の分野での活躍も目立つ。二期会会員。

※演奏曲目、並びに出演者は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。予めご承知おきください。



武蔵野市民文化会館

〒180-0006 東京都武蔵野市中町 3 丁目 9 番 11 号



JR 三鷹駅北口 1 番・2 番・5 番のりばより、
路線バス「市民文化会館入口」停留所下車 徒歩 2 分
詳細は QR コードをご確認ください。



東京ムジーククライス [合唱]

TOKYO MUSIK KREIS

2006 年 10 月、首都東京を本拠地とし、バロックや古典・ロマン派の宗教曲、とりわけ J.S. バッハの作品の研究、及びその演奏活動を目的に設立された合唱団、音楽団体。常任指揮者には、バッハ・コレギウム・ジャパン等で広く活躍中の渡辺祐介氏を迎え、また国内外で活躍する気鋭の音楽家を数多く指導者・演奏者として招聘し、併設のプロオーケストラと共に演奏活動を行っている。20 代・30 代の若手社会人や学生ばかりが集った機動性溢れる合唱アンサンブルは、楽器としての「声」の豊潤さを新たに感じさせるものとして評価を得ており、意欲的な活動スタイルやプログラミングとも相俟って各方面から注目を集めている。musik-kreis(ドイツ語で「音楽の輪」という団体名には、クラシック音楽、合唱の素晴らしさを、演奏を通して聴衆や演奏者と共感したい、受け継いでゆきたいという願いが込められている。